氏 (法人にあっては名称)

## 温室効果ガス排出削減計画

住 (法人にあっては主たる事業所の所在地)

						_   ∓ 71	4-0062			
名 エフピコアルライト株式会社				Ī	所 岡山県笠岡市茂平2918-46					
本票作成	部署	名:	生産支援部マス	ネジメントシ	ステム課	•				
主たる業		分類 コード		プラスチッ		業(別排	曷を除く)			
事業の 概 要	工場	業内容:フィルム事業・段ボール事業 湯数:3工場(本社工場・ダンボール工場・関東工場) 業員数:129名								
県内の	番号					所 在 地				
	1	ダンボール工場			笠岡市茂平2918-12					
	2	本社工場				笠岡市茂平2918-46				
主な										
工場等										
			the feet following a little fields			<u> </u>				
特定事業 の該当要	, D						、タクシー250台以上			
グバヨタ			工場等の数	2	所	甲阿仁	3数(②該当の場	台)	台)	
計画期	間		平成 30	年度	$\sim$	平成	34 年度	( 5	箇年度)	
削減目標		ずれ		<b>基基準</b>	目標削	減率	H /JK	~15% 15~10% <b>1</b> 0~	~5% 5%未満	
	~	と選択	☑ 原単位基	<b>基準</b>	5. 0	%	区分	(		
温室効果プ	ガス		基準年度(平成				目標年度(令和	34 年度)		
排出量		- n			t CO <sub>2</sub>	-1-1- >	with the second second	-	t CO <sub>2</sub>	
		番号 工場等の名			名称 <u></u>		基準年度(平成 29 年度)の排出量			
		① ダンボール工場				5, 227 t CO <sub>2</sub>				
基準年度 主な工場	_	2 本社工場				654 t CO <sub>2</sub> t CO <sub>2</sub>				
土な工物の排出量						$t co_2$				
	H								t CO <sub>2</sub>	
	H								t CO <sub>2</sub>	
	 ·画期	間」	<u>L</u> 欄には, 5 簡年	 E度以内で特定	     主事業者がに	どめる期	 引間を記入する。			
(原単位基	À		果ガスの排出量と				原単位当7	とり排出量		
の削減目標	[を   作	ゴエネ製品の	法に基づく寄与率 生産面積(万㎡)	計算で算出(① を ②ではプラ	·算で算出(①では段ボール ·、②ではプラスチックフィ		基準年度   目標年度     100,000   95,000			
選択した場 に記入)	7	レムの	生産重量(千t)を			r	$0_2 / (\%)$	CO <sub>2</sub> / (		
(3+ \D -+ \U		争した					02 / ( /0 )	CO2 / (	/0 /	
(該当事業		<sup>のみ記入)</sup> 対象事業の名称 ベンチマーク指			チマーク指		関連数値(平成	29 年度)	達成率(%)	
指標の状況										
- H 1/41 - 1/1							1			

【目標削減率設定の基本的な考え方】 各種設備の運用方法見直しによる設計余裕の削減や生産効率向上を行い、省エネ法に基づく年1%以 上のエネルギー消費原単位の削減を行うことにより、温室効果ガス削減に取り組む。

## 【目標削減率達成のための推進体制】

- ・IS014001に基づく推進体制…環境推進委員会(1回/月)、マネジメントレビュー(2回/年)
- ・省エネ法に基づく推進体制…エネルギー管理員会(1回/月)

## 【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
旧本社工場 (現ダンボール工場)	・ダンボール工場コンプレッサーのインバータ化 (実施予定時期:2016年 CO2削減量:42 t /年) ・ダンボール工場照明のLED化 (実施予定時期:2016年 CO2削減量:5 t /年) ・排水処理装置サクションブロワのインバータ化 (実施予定時期:2016年 CO2削減量:1 t /年) ・エネルギー監視装置による省エネ改善 ・省エネパトロールの実施(1回/月)

# 「計画期間由に日煙削減率を達成するために宝施する世界」

【計画期間中に目標削減率を達	<b>Ĕ成するために実施する措置】</b>
工場等の名称	措置内容
ダンボール工場本社工場	・段ボール製函機カッターブロアのインバータ化 (CO2削減量:18 t /年) ・ボイラーの燃料転換(A重油→LPG) (CO2削減量:95 t /年) ・コルゲート蒸気供給弁の自動化 (CO2削減量:33.4 t /年) ・「省エネサポート相談」(岡山県)の実施 ・「CO2ポテンシャル診断」(環境省)の受診 ・電気温水器の停止(1台) (CO2削減量:2.8 t /年) ・自家消費型太陽光発電設備の設置(出力:200KW程度) (CO2削減量:91.9 t /年)
	・冷却塔設備制御方式の見直し (C02削減量:24.1 t/年) ・「省エネサポート相談」 (岡山県) の実施

## 【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【再生可能エネルギーの導入計画】

県内で の取組	有	自家消費型太陽光発電設備の導入 (場所:本社工場屋上 規模:出力200KW程度 設置予定時期:2020年)
その他	無	

### 【その他特記事項】

- ・化成品工場と本社事務所が新本社工場として稼働(2018年2月~)
- ・グラビア工場の分社化 (2018年6月~) により、グラビア工場が停止 ・電力購入先を切り替え
- ・家庭の電力量を削減した社員を表彰
- ・eco検定の推進と合格者の表彰
- ・「エネルギー管理士連盟」メンバーとの定例会及び簡易省エネ診断の実施
- ・各種省エネルギーセミナーへ参加